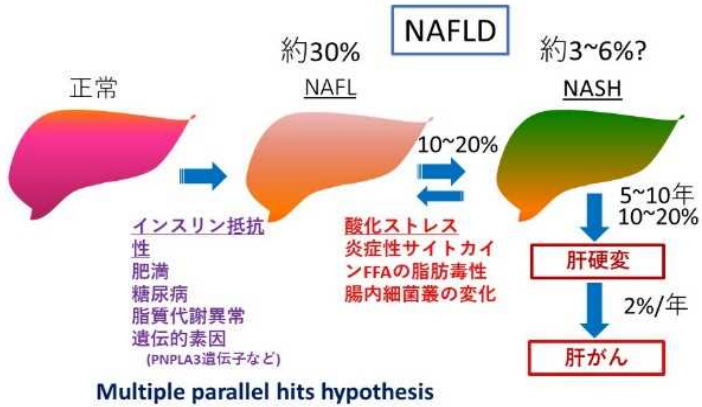


「糖尿病や代謝疾患を合併する脂肪肝に気をつけて」

2022 年 3 月発行

近年の抗ウイルス剤の進歩により C 型肝炎による肝臓が減ってきましたが、一方で非 B 非 C 肝臓が増加しています。その背景に肥満・糖尿病患者の増加が考えられ、非アルコール性脂肪肝疾患 (NAFLD) を母体とした肝臓の発生は注意を払うべき合併疾患となっています (図 1)。最近の報告では、糖尿病患者の約 55% が NAFLD を合併しており、そのうちの約 17% が進行性の脂肪肝炎 (NASH) とされていますが、糖尿病合併の NAFLD は NASH へ進展しやすいと言われています (Younossi ZM J Hepatol, 2019, Younossi ZM Diabetes Care, 2020)。2016 年の厚生労働省の統計によれば、糖尿病・予備軍は約 2,000 万人ですから約 180 万人が NASH で、線維化が進行して肝硬変や肝臓になるリスクがあるということになります (図 2)。

図 1. NAFLD の病因と病態



谷倉麻紀子, 日内誌 Vol109, 2020 を改題

図 2. 糖尿病患者と NAFLD/NASH 患者の推計

- NAFLD 有病者数 2,260 万人、(2016 年)\*1
  - NAFLD は 1,890 万人、NASH は 376 万人
  - 線維化進展例 (F3 または肝硬変) 66 万人、2030 年には 99 万人に増加する予測
- 糖尿病/予備軍 有病者数 約 2,000 万人、(2016 年)\*2
  - 有病率 12.1%/12.1%、男性 16.3%/12.2%、女性 9.3%/12.1%
  - NAFLD 合併率は 55%
  - NASH 合併率は 17%



\*1 Estes C et al. J Hepatol 2018.  
\*2 厚生労働省 平成 28 年 (2016) 国民健康・栄養調査より抜粋

表 1. NAFLD/NASH における生活習慣病・メタボリックシンドロームの合併率

合併症	NAFLD	NASH
脂質異常症	50%	60%
高血圧症	30%	60%
空腹時高血糖	30%	40%
糖尿病型または境界型	70%	70%
メタボリックシンドローム	約 40%	約 50%

日本糖尿病学会編 2010 糖尿病治療ガイド

一方、NAFLD は 2016 年の推計では 2,260 万人あり、NASH は 376 万人とされています (図 2)。また NAFLD の約半数が脂質異常や糖尿病を合併しています。糖尿病などの代謝疾患合併例では肝線維化の進行が速くなり、NASH になるとその代謝疾患合併率もさらに高くなります (表 1)。その結果、肝臓発生のリスクが高くなるばかりでなく、脳心血管イベントや非肝悪性腫瘍のリスクも高くなります。すなわち肝線維化が非肝関連疾患も含めた予後を規定しているのです。

脂肪肝は症状がありません。肥満や糖尿病などの代謝疾患で高率に合併する生活習慣病の一つです。これらはお互いの予後を悪化させる因子となります。一度は肝機能や腹部エコーなどで脂肪肝を調べてみましょう。ご相談は消化器内科または肝臓疾患センターまで。